

気候変動がもたらす更なるリスク ～頻発・激甚化する水災害に備える～

国際防災・人道支援 フォーラム2017

International Disaster Reduction Alliance Forum (DRA Forum 2017)

気候変動に伴う異常気象の常態化、温暖化による海面上昇などにより、洪水、高潮など水災害の頻発・激甚化が見られ、過去10年間(2005年～2014年)の水災害による全世界での被災者数は、自然災害による被災者全体の6割強となる120万人を超え、死亡者数は24万人*近くにのぼるなど、水災害の抑制が世界的な喫緊の課題となっている。

2015年3月に開催された第3回国連防災世界会議(WCDRR)において採択された「仙台防災枠組2015-2030」においても、気候変動により災害が激甚化し、持続可能な発展の大きな阻害要因となっていることが指摘されており、気候変動がもたらすリスク、とりわけ水災害への対策が強く求められているところである。

本フォーラムでは、気候変動がもたらす環境変化とそれに起因する水災害の将来像を明らかにし、国内外の有識者による議論を通じて、政府・地域・市民レベルで望まれる対応策について考えることとする。

*ED-MAT, CRED, University of Louvain, Belgium

Date 平成29年(2017年) 1月20日(金) 13:30~17:00

Place 神戸ポートピアホテル「借楽の間」(神戸市中央区港島中町6-10-1)
※ポートライナー「市民広場」駅下車すぐ

参加費無料
定員 200名
【日英同時通訳】

Program 13:30~

【開会あいさつ】

五百旗頭真 国際防災・人道支援協議会(DRA)会長、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構理事
井戸敏三 兵庫県知事
佐谷説子 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)

【基調講演1】「気候変動による災害リスク変化と将来像について(仮題)」



小池俊雄
東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻・教授
(国研)土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター・センター長

【基調講演2】「米国ニューヨークにおける高潮対策(仮題)」

米国における公共土木工事の計画、設計、施工の中心を担う米国陸軍工兵隊の専門家を招き、米国史上最大の大都市圏災害をもたらしたハリケーン・サンディの経験・教訓について語ってもらう。

【パネルディスカッション】「水災害による被害低減に向けて、政府・地域・市民レベルで望まれる対応策とは」

(ファシリテーター)・小池俊雄 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻・教授、(国研)土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター・センター長
(パネリスト)・松岡由季 国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所代表
・河田恵昭 国際防災・人道支援協議会(DRA)会長代行、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長
・米国陸軍工兵隊専門家 <調整中>

~17:00 【総括・閉会】 河田恵昭 国際防災・人道支援協議会(DRA)会長代行、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長

主催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

人と防災未来センター、兵庫県、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)、国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所、ひょうご震災記念21世紀研究機構(Hem21)、国際防災・人道支援協議会(DRA)

後援 朝日新聞社、神戸新聞社(予定)

申込方法 人と防災未来センターのホームページ(<http://www.dri.ne.jp/>)からネット上で申し込みいただくか、FAXをご利用の場合は、①氏名、②所属団体、③電話番号、④FAX番号を記載の上、申込先まで送信下さい。
Please visit the DRI Web site (<http://www.dri.ne.jp/>) for the registration.

問合せ先・申込先 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

(人と防災未来センター事業部普及課)
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2西館6階

電話:078-262-5060 FAX:078-262-5082